

# 『男女共同参画をさらに進めるためには』 ～次世代を担う子どもたちのために～

『「ひと」と「ひと」が輝くまち宣言』が昨年12月の市議会で決議されたことを受け、これからどのような社会にしていけるか、またはしていきたいかを編集委員5人で座談会をしました。



## (1) 「ひと」と「ひと」が輝くまち宣言」を読んだ感想



中身は良いと思う！宣言を具現化していくことが大事だね。行政の力を借りて市民力で進めていければいいと思うな。

人としてのあたたかさを感じた。これをどう市民に浸透させていくかが課題だと思うわ。私達も協力したい！



宣言によって、市民一人ひとりが暮らしやすくなったら良いと思う。市民が立ち上がって発案した宣言だから、それに市民が触発され、機運が高まれば良いよね。そして、次世代につないでいきたいな。

4つ目の宣言(次世代について)が特に大切だと思うんだ。次世代が今後の担い手だからね。あと、今は女性がもっと社会に出ていく仕組みづくりが大事だよな。



男女共同参画ではなく、「ひと」と「ひと」の表現がやわらかくていいよね。

**じゃあ、これから具体的にどうしていこうか？**



18歳で市民には選挙権が付与される。高校生の政治参画意識を高めていき、女性の政治参画の少なさを理解してほしいなあ。まずは、投票所に行ってもらうことからだね。

女性の働き方かな。中小企業では、育休の代替要員補充により、職場復帰できず、解雇等の問題がある。法の整備が必要かな。



足利は、中小企業が多い。結婚、妊娠、出産から職場復帰。子どもの熱が出た時どうするか？近くに親族がいれば良いけど。いない場合は、受け皿がないの。結果、パート・アルバイトでやっていかざるを得ないのよね。

共働きしやすいまちもあると思うけどそういうところは、受け皿が整っているということかしら。





人それぞれが愛情を持ち、心を込めて互いに接する。そのことで人間性が育める。そうした、人と人が向き合えるまちになればいいなあ。昔は隣の人が、子どもを預かってくれたりしたわ。今はそうした受け皿はないのよね。

育児介護で休みになる時は、シルバー人材センター等を活用してみたらどうかな。「就労支援お助け隊」みたいなもの。こうした仕組み(受け皿)を作れば、シルバー世代の力が大きな役割を果たすんじゃないかな。



定年制の延長もあるからね。そうした人にも活躍してもらえるね!



子育てを安心してできるところじゃないと子どもは増えないよね。だからこそ、この宣言をきっかけに安心して子育てできる環境整備が進んでいくといいね。



## (2) 次世代を担う子どもたちのために ~啓発絵本「いっしょがいいよネ!」について~



子どもの頃から男女共同参画について考えることは必要だよね!



自分が幼かった頃、男の子は青、女の子は赤というのがあった。男の子、女の子“らしさ”はある程度あってもいいと思うな。



幼少期の教育はすごく大切で、性差・体力は、知識に従った平等が良いわよね。違いは考慮に入れるべきよ。“らしさ”で、固定観念を植え付けることが問題なのかしら。それを考える上で、「いっしょがいいよネ!」は、いいきっかけづくりになると思うわ。



学校には資料がたくさん届く。こうした資料も配り方の工夫が必要。



より多くの保護者に読んでもらえるよう、学年部会などの節目節目で配布してみてもどう?



絵本も宣言も、各地区でPR してたらどうだろうね。



海外では、男女問わず家事を積極的にしているわ。それを見て育つ子どもも、そういう大人になろうという意識が芽生えてるわ。

### 【まとめ】

男女共同参画を更に進めるためには、人それぞれが愛情を持ち、心を込めて互いに接する。そうした人と人が向き合えるまちになれば良いと思います。

幼少期の教育はすごく大切。そのための方法の1つとして、子ども向けの啓発資料である「いっしょがいいよネ!」で啓発を進めていくこと。また、子どもは親の背中を見て育つもの、男女問わず家事を積極的にやる。それが子どもの意識の中のモデルになり、そういう大人になろうという意識が芽生えていってほしいです。

足利市では、毎年、市内小学校4年生(今年度から5年生)を対象に、『親子で考える「男女共同参画社会」をつくるための絵本「いっしょがいいよネ!」』を配付しています。男女が共にイキイキと生活していく上で、大切なことがわかりやすく書いてありますので是非、保護者の皆様も積極的にお子さんと読んでみてください。

